

- 連絡機関：Seoul 国立大学校および Population Council, Inc., New York
- Mr. B. Sharma: Health and Labour Minister, State of Rajasthan, India
 年月日：1970年11月10日
 用務：家族計画運動視察
 連絡機関：I. P. P. F., Western Pacific Regional Office
- Dr. Riaz ul Hassan: Acting Head, Department of Sociology, University of Singapore
 年月日：1970年11月13日
 用務：日本地域開発センター海外研修生として日本の都市化，人口移動研究のため
 連絡機関：日本地域開発センター
- 韓基春氏 (Dr. Kee Chun Han): 韓国，延世大学校商経大学教授
 年月日：1970年12月15日
 用務：家族計画に関する調査研究および文献収集
- Dr. Victor LeClaire: US. Navy Captain Rtd.
 年月日：1970年12月18日
 用務：日本の人口問題に関する資料収集

日本家政学会第22回総会

日本家政学会第22回総会は，昭和45年10月3日(土)・4日(日)の2日間にわたり，兵庫県の武庫川女子大学において開催され，本研究所からは，内野澄子技官が出席した。

一般研究報告は，食物学，被服学，児童学，住居学，家庭経営学，その他，家庭科教育の7部会に分かれ計316題の報告が行なわれた。このうち人口に関連を持った報告をあげると次のとおりである。

- 家計が負担する教育費の変動(その1) — 社会保障研究所「児童養育費調査」による —
伊藤秋子他2名(お茶の水女子大)
- ファミリー・サイクルに対応する教育費.....伊藤秋子(お茶の水女子大)
 杉原由機(立正女子大)
- 農家生活の変貌に関する研究—集落の世帯構成についての地域別考察—
鹿股寿美江他1名(青葉学園短大)
- 世帯数変動の構造と地域的特徴—昭和30年と40年の県別比較—
内野澄子(人口問題研究所)
 (内野澄子記)

第43回日本社会学会大会

第43回日本社会学会大会は，昭和45年10月8(木)，9(金)の両日，東京女子大学において開催され，本研究所からは，上田正夫，黒田俊夫，駒井洋，清水浩昭，柴田弘捷および若林敬子の6技官が出席した。

第1日目の一般研究報告は，理論，社会心理，家族，地域社会研究，教育・人口(午前の部)，社会学史・理論，農山村，都市，社会病理，産業・労働・職業(午後の部)の各部会が開かれ，計45題の報告があった。本研究所関係者では黒田技官が「人口移動の“近代化”」を，また駒井技官が「タイの企業者能力」について注目すべき報告を行なった。

第2日目のシンポジウムは「現代日本の都市化と都市問題」と「現代の青年問題」の二つの部会からなり，